

(法第29条関係様式例)

2024年度事業報告書

特定非営利活動法人ミンナのチカラ

1 事業の成果

居場所づくりについては、第1・3・5日曜日の月2～3回ひきこもりの居場所をミンナのC a s a で開設したほか、胎内市から多世代交流拠点の運営を受託しました。

居場所は今年度27回開設し延べ12名が利用しました。1回あたり平均0.4人と利用は少ないですが、ひきこもりに着目した居場所の開設をブレずに続けていく必要があると思っています。なお、一度は社会復帰したもののそこでの人間関係に悩んでストレス発散にしゃべりに来るなど居場所としての存在意義を認識することもできました。

当法人の活動の周知のため、医療機関や福祉施設などの関係機関にチラシを配布し施設内での掲示等をお願いしました。

受託した多世代交流事業では、ほぼ毎月何らかのワークショップを行うほか、マコモダケの植え付けから収穫までを行い18回延べ194名に参加していただきました。

そして、学用品バンクのミンナのユズリバでは、22組が利用しました。昨年同様集めることが目的の事業ではないので、必要としている方に譲り渡せるよう周知を図っていくことが必要であると感じています。

また、食育活動を兼ねたこども食堂「ミンナのこども食堂」を9月から開始しました。毎月第1日曜日に食育を兼ねて作って食べる15人と食べるだけの15人の枠を設け開催してきました。調理をキーに多世代が集い交流する場とすることができました。

- (1) ミンナのC a s a 27回開催 延べ12人の利用
- (2) ミンナのユズリバ 22組の利用
- (3) 多世代交流 18回開催 延べ194人の参加（スタッフ含む。）

空き家・空き地対策では、空き地の草刈りを1件対応しました。また、胎内市の空き家バンク担当課と連携し、引き続き当法人の空き家・空き地対策のチラシや空き家のトリセツを市役所に配置してもらいました。

交流イベントとして、チューリップフェスティバルに出店しマコモダケの炊き込みご飯や米粉カレー、地元産の水やお茶のペットボトル販売を行いました。そして、6月下旬に開催した本町ビアガーデンでは主催者として参加し、竹灯籠であかりの演出を行いました。そのほか、11月3日のおいでよ！本町マルシェでは当法人の活動を周知するブースを出しました。

また、多世代交流事業で実施した竹灯籠ワークショップからの広がりでも、一昨年から3年目となる中条小学校秋祭りで5年生60人向けに竹灯籠作製のワークショップを開催したほか、チューリップフェスティバルのナイトイルミネーションを彩る竹灯籠39本を花畑会場までの通路に設置しました。

有害鳥獣対策となる放置柿を収集し、さわし柿、干し柿等に利用する取組を実施しました。胎内市とも連携し柿の収集について、市報に掲載してもらったことで4名から連

絡をいただき多くの柿を集めることができました。なお、取組について日本経済新聞社から取材を受け新聞に掲載していただきました。

このほか、ドローン飛行を1件請け負いました。

最後に、胎内市健康づくり課と連携し、ひきこもりの実態調査票の集計分析を請け負い、その結果を2月24日に開催したひきこもりフォーラム内で発表しました。ひきこもりフォーラムは胎内市の合併振興基金補助金を活用し、市内外から200人ほどが集まりたかのてるこ氏の基調講演やトークセッションを行いました。

特筆すべき収入

- ・にいがた・新テーマ型募金 39万9,000円
- ・多世代交流拠点運営委託 24万円
- ・つながりの場づくり支援事業補助金（こども食堂開設） 50万円
- ・合併振興基金助成補助金（フォーラム開催） 45万1,000円
- ・胎内市民の困りごとアンケート調査集計・分析・発表 11万円

2 事業実施に関する事項
(1) 特定非営利活動に係る事業

(単位：千円)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者の範囲及び人数	支出額
居場所づくりに関する事業	ひきこもりの当事者とその家族の居場所「ミンナのカサ」を運営 このほか、多世代交流拠点運営、学用服バンクの運営を居場所づくりの一環として実施	毎月第1・3・5日曜日の午後2時から4時まで 多世代交流は毎月第3日曜日の正午から午後2時まで	胎内市新栄町1-20	18人	胎内市民、ひきこもりの当事者やその家族等	1,655
空き家・空き地対策に関する事業	空き家等の管理・見守りを行うほか、空き家等の利活用に向けたマッチングの実施	通年	胎内市全域	3人	胎内市民及び市内に空き家等を所有する者	15
交流・イベント開催に関する事業	マルシェの企画出店やワークショップ等を実施	通年	胎内市全域	7人	胎内市民やワークショップに関心がある者	422
資源循環に関する事業	学用服バンクの運営	通年	胎内市内全域	10人	胎内市民	27
農林水産業の振興に関する事業	放置柿活用のほか、マコモダケとそばの農作物の栽培を実施	通年	胎内市内全域	6人	胎内市民や取組に関心がある者	10

写真及び映像の撮影又は加工に関する事業	ドローンを用いた撮影等を実施	通年	新潟県全域ほか	3人	胎内市民ほか当該映像・写真を希望する者	40
自治体の施策推進に関する事業	市の施策推進に関する調査等に関与	通年	新潟県全域	6人	胎内市民等	154
前条に掲げる活動に資する事業	市民等の困りごとの解消につながる取組のほか、取組に関する講師等を実施	通年	新潟県全域	3人	新潟県民	0